



鶴岡ひろよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

6月県議会・一般質問

進む一宮川流域の整備

長生ブルーラインの検討要す

茂原市選出の鶴岡宏祥議員は、6月県議会一般質問に登壇。懸案の一宮川流域の整備や道路問題について、ただし、更に農業の現状に危機感を訴えて、県の姿勢を追及した。その概要をお伝えする。

一宮川流域整備の状況

鶴岡議員 一宮川流域の治水対策について県では二宮川流域治水対策特別緊急事業を実施し、また流域関係者による二宮川水系



6月県議会一般質問に登壇した鶴岡宏祥議員

県立長生の森公園

野球場に照明を

茂原市近郊の広域公園

進捗状況はどうか

鶴岡議員 県立長生の森公園は、茂原市街北西の丘陵地にある公園で、自然の地形や豊かな緑を保全しながらスポーツ・レクリエーションが楽しめる広域公園として計画され、事業が進んでいる。そこで2点伺う。

長生の森公園整備の進捗

鶴岡議員 ①公園整備の進捗

都市整備局長 本公園は計画面積48・2分の広域公園で、野球場やテニスコート、多目的広場など12・5分について供用しております。今年度は、多目的広場周辺の園路整備を行っており、新たに体験広場の整備に着手する予定です。また、事業期間が今年度

未迄であることから、今後の事業の進め方や資金計画など事業計画の見直しを進めており、今後は、民間活力導入も見据えた魅力向上に取り組んでまいります。

野球場の照明設備

鶴岡議員 ②野球場に照明設備が必要と思うがどうか

都市整備局長

県内での設置球場の利用状況や、周辺環境への影響などについて調査を行ったところであり、地元市や利用団体の意見等も勘案し、事業計画見直しの中で検討してまいります。

また、これに続く県道茂原大多喜線一宮川農道の区間では、用地の取得を進

めるが、終点部の広域農道との交差点を立体交差とすることで昨年12月から地元説明会を実施しております。

一宮町までの事業化
鶴岡議員 長生グリーンラインの広域農道から二宮町までの取組状況はどうか。
県土整備部長 広域農道から一宮町までの早期事業化は、圏央道の整備効果を広く波及させ、県内外との交流・連携の強化、観光等の地域振興を図るために重要であると考えています。このため、関係機関との協議を進めて道路計画案を検討しており、今後、地元説明会を実施する予定です。

県道正気茂原線の交差点
鶴岡議員 県道正気茂原線は、大変重要な道路であるが、

長生グリーンライン

急ぐ早期実現

下流域では、未買収地の大半を占める共有地について約8割の持分を取得しており、早期取得に向けた対策を検討しております。

流域治水の検討状況
鶴岡議員 ③長生広域導水路を含めた流域治水の検討はどうか。
県土整備部長 流域治水については、河川整備と併せ、雨水貯留対策、土地利用施策等、幅広い対策を総合的に取り組んでまいります。

流域治水の具体的な対策検討は約5割と進んでおります。

現在、B調節池の対岸に整備するA調節池の掘削工事のほか、新植橋の上部工や、橋の上流側で護岸工事を実施しております。

要望
元年のような災害を、二度と経験したくないという地元の思いを汲んで、早期の整備を目指し、引き続きご尽力いただきます。

要望
また、百年後も水害の心配のない長生地域となるよう、広い視野での対策となる「長生ブルーライン」の実現に向け、前向きな検討をお願いしたい。

県土整備部長 茂原市早野地先の交差点では、右折レーンを設置する改良事業を行っており、昨年度に用地取得に必要な物件調査を完了し、今後、残る用地の取得を進めます。

また、茂原地先一早野地先の区間では、路肩が狭く、自乗車の安全通行が確保できない区間や、幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難である橋梁等があり、今年度、調査を実施し、対応策を検討します。

長生グリーンライン
は、圏央道と外房地域を結び、半島性克服のため、大変重要な事業なので、引き続き早期整備に向けた取組をお願いしたい。

また、県道正気茂原線、県道茂原大多喜線も、それぞれ抱えた問題を理解し、早期の対策を要望する。

“農業王国・千葉”の危機

10年間で農家2万減る

人・農地プラン 策定に全力を

減少止まれ千葉県の農家
鶴岡議員 日本の農家戸数は、10年間で実に31%も減少し、千葉県でも、2010年の7万3千戸余りから、2020年には5万戸余りに減少し、農業王国千葉の生産基盤が弱体化しつつある。

このような中、国は、農地を担い手に集積・集約させ、地域農業の将来を描く「人・農地プラン」を作成

を進めてきたが、努力目標から作成を義務付けする関係法令・施策の改正を進めている。そこで3点伺う。
農地集積率が遅れた理由
鶴岡議員 ①農地集積・集約が進まなかった主な原因は、何であると考えるか。
農林水産部長 県では、担い手への農地集積率51%を目標に推進していますが、令和2年度末の実績は、26.9%に留まっています。



自席から再質問する鶴岡議員

急げ地籍調査

地籍調査への取組

鶴岡議員 地籍調査は、市町村が主体となり、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測る調査である。

その効果は、災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化などに寄与する、大変重要な調査と認識している。

しかし本県では、未着手の市町村が多く、調査が遅

れている。なお、本県の対象面積に対する進捗率は、約18%という。そこで伺う。
地籍調査の推進を図るため、どう取り組むのか。
県土整備部長 県では、地籍調査を推進するため、調査の未着手や休止中の市町村に対し直接訪問して調査の重要性を説明し、理解を求めています。また、国の補助メニューの活用を提案

するなど働きかけを強めていく予定です。
更に、効率的な調査手法等に関する講習会も開催しており、今後も地籍調査推進に取り組んでまいります。
要望 県は、事業を完了する市町村への支援と、未着手等の市町村への働きかけを強化し、より一層の事業進捗を図るよう要望する。

その主な原因として、信頼関係が構築された相手に貸したいという農家が多く、また、経営向上につながらない農地の貸借が進まなかったこと等が挙げられます。
この状況改善には、貸手と借手の話し合いを促し、複数の農地をまとめて貸借につなげるなどが必要ですが、こうした調整の不足も要因と考えます。

鶴岡議員 ②地域計画策定上での課題は何か。また、支援をどう進めるのか。
農林水産部長 地域計画は、市町村が地域農業の将来の在り方やそれを支える

鶴岡議員 ③地域計画の実施に向けて県は、どのような支援をしていくのか。
農林水産部長 担い手に対しては、効率的な利用に適した農地の整備や集約化を促進するとともに、経営力強化に必要な施設やス

ポーツに親しむ機会
鶴岡議員 県民誰もがスポーツに親しめる機会の充実に向けて、どのように取り組んでいるのか。
知事 県民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しめるようになることは、心身の健全な発達や健康の保持、増進につながることも、住民や地域間の交流など活力ある社会づくりの大きな原動力になると考えます。
このため、県では、毎年10月をスポーツ推進月間と

し、県有施設の無料開放や親子体験イベント等を実施するほか、幅広い世代が身近な地域で多様なスポーツを楽しむための総合型地域スポーツクラブの設立支援や、生涯スポーツの指導者の育成に取り組んでいます。
また、今年度からは、スケートボード等のアパンスポーツの普及促進に取り組むとともに、バラスポーツ体験会の実施地域や、小中学校のバラスリートの派遣回数を拡充します。

普及促進への取組
鶴岡議員 ユニバーサルスポーツ・文化局長 ユニバーサルスポーツ普及に取り組む市町村が少ないため県は、スポーツ団体や市町村の意見を聞き、競技の楽しさを知ってもらえるよう情報発信、体験会開催などに積極的に取り組んでいます。

タッチバレーの普及
鶴岡議員 茂原市発祥のタッチバレーを県として普

ユニバーサル・スポーツの普及 タッチバレーの検討も

普及促進への取組

鶴岡議員 ユニバーサルスポーツ・文化局長 ユニバーサルスポーツ普及に取り組む市町村が少ないため県は、スポーツ団体や市町村の意見を聞き、競技の楽しさを知ってもらえるよう情報発信、体験会開催などに積極的に取り組んでいます。

タッチバレーの普及
鶴岡議員 茂原市発祥のタッチバレーを県として普

普及促進への取組
鶴岡議員 ユニバーサルスポーツ・文化局長 ユニバーサルスポーツ普及に取り組む市町村が少ないため県は、スポーツ団体や市町村の意見を聞き、競技の楽しさを知ってもらえるよう情報発信、体験会開催などに積極的に取り組んでいます。

タッチバレーの普及
鶴岡議員 茂原市発祥のタッチバレーを県として普

普及促進への取組
鶴岡議員 ユニバーサルスポーツ・文化局長 ユニバーサルスポーツ普及に取り組む市町村が少ないため県は、スポーツ団体や市町村の意見を聞き、競技の楽しさを知ってもらえるよう情報発信、体験会開催などに積極的に取り組んでいます。

タッチバレーの普及
鶴岡議員 茂原市発祥のタッチバレーを県として普

千葉リハビリテーションセンター

再整備の進捗状況
鶴岡議員 千葉リハビリテーションセンターは、主に身体障害のある人に、高度な医学的、社会的及び職業的リハビリを総合的に提供し、社会復帰・家庭復帰を支援する施設であり、現在、再整備の準備が進んでいる。
実施設計の進捗状況はどうか。また、スケジュールは順調に進んでいるか。
健康福祉部長 利用者動線に配慮した施設配置、利用者の状態に合わせた居住環境整備、高度で専門的なリハビリを

順調に再整備進む

可能とする訓練室の拡充等、現場の意見を反映させた基本設計を昨年12月に完了しました。
本年1月からは実施設計に着手し、現在、最終的なレイアウトを確認するなどの医療機器の選定などを行い、本年度末までに設計を完了する予定です。
再整備は予定どおり進めており、外来診療棟は令和8年度、居住棟は令和12年度の供用開始に向け、着実に整備してまいります。

地域の思いを県政に

●茂原市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

鶴岡ひろよし 県事務所
〒297-0037 茂原市早野2130 TEL.0475(27)2601/FAX.0475(26)2839